

日本学童保育学会 第16回研究大会 プログラム

■日 時：2026年6月20日（土）12時30分～

21日（日）9時00分～

■会 場：金沢大学 角間キャンパス 人社第2講義棟

（〒920-1192 石川県金沢市角間町）

【注意事項】

①企画申込者が想定よりも多かったため、21日（日）12時20分～13時20分に「自主企画②」を追加しました。これに伴い、「若手会員のためのラウンドテーブル」も時間を変更しています。

＜現地で参加される方へのお願い＞

- ①現地参加される方は、事前に参加申し込みをし、大会参加費を当日受付にてお支払いください。
- ②「発表要旨集」は印刷・製本・配布しませんので、事前に送付されたファイルを各自印刷したものを持参されるか、端末に入れたものをご覧ください。

＜オンラインで参加される方へのお願い＞

- ①オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表の第6室、若手会員のラウンドテーブルのみ参加可能となります。
- ②オンライン参加希望の方は、参加申し込みをし、必ず参加費を事前に指定の口座までお支払いください。
- ③参加申し込みをし、大会参加費の支払いが確認された方に Zoom の接続情報をお知らせします。
- ④Zoom に接続時は名前を「フルネーム（所属）」にしてください。接続するとまず待機室に入ってください、そこで申し込み名簿と照合させていただいた上で入室を承認します。
- ⑤討論時を除いて音声はミュートにしてください。ビデオはオンにしてください。
- ⑥Zoom アプリは最新のものをお使いください。通信環境は各自整えてください。
- ⑦万が一、進行を妨げる状況になった場合は、ご退室いただくことがあります。

＜自由研究発表者へのお願い＞※自主企画発表者も以下をご参考に準備ください。

- ①自由研究発表で使用するすべての教室に、プロジェクターがあります。PCはありませんので現地発表者は各自でパソコンをご準備ください。
- ②当日資料等を配布されたい場合は、各自でご準備・ご持参いただくこととなります。会場ではコピーが使用できません（部数につきましては例年、1室20～30部程度とお伝えしていますが、各自でご判断くださいますようお願いいたします）。
- ③自由研究発表は2日目9時20分から開始となりますので、パソコンを使用される場合は9時10分までに発表教室（オンライン参加者はZoom）に入室いただき、必ず事前に動作確認を行ってください。
- ④自由研究発表は、個人研究・共同研究（発表20分、討議10分）と共同研究（発表30分、討議15分）があります。発表者はそれぞれの申込発表時間及びプログラムをご確認の上ご準備ください。各室ごとに、すべての発表が終了したのち、総括を行うことを予定しておりますのでご予定ください。

■日 程

6月20日(土) [第1日目]

12:30～ 受付 (1階ロビー)

13:00～16:00 課題研究I (第2講義棟4階 402教室・オンライン参加)

「学童保育実践の基本的価値を再考するー遊び・生活・ケア・自治ー」

【趣旨】

共働き世帯の増加と共に学童保育の利用児童数は増加しているが、それと同時に学童保育事業者の多様化も急速に進展している。その一方で学力観の見直しにより、社会に開かれた教育課程の必要性が主張され、学校外の諸活動と学校との協働への期待も高まっている。

このように施設としての学童保育の必要性は誰の目にも明らかであるが、ステークホルダーの増加は学童保育実践が追求すべき価値の多様化をもたらし、様々な理念やビジョンを掲げる学童保育実践が並立しつつあるのが現状である。

学童保育実践において大事にすべきこと(価値)は、働く親の関心や学校からの関心と切り離して考えることはできないが、何よりも重視すべきは今の時代を生きる子どもの必要(子どもが子どもとして求めるもの)である。しかし保護者の関心が学校教育での達成に集中すればするほど、子どもの必要も大人から一方的に定義される可能性が高まる。学童保育における市場化はその傾向を助長するであろう。

今回の課題研究Iでは、以上の現状を念頭に置きながら、学童保育実践が追求すべき基本的価値を改めて検討したい。それは基本的であるが故に、学童保育の形態を問わず共通に位置づくはずの価値である。

学童保育実践を語る場合には、これまでも遊びと生活を土台とした生活づくり、様々なケア的關係、子どもの自治などがキーワードとされてきた。これらは学童保育実践が欠いてはならない要素であり基本的価値と密接に関わるが、価値は目的であることに鑑みれば、それらをもって直ちに基本的価値と見なすことはできない。むしろ、それらをキーワードたらしめ繋げるものが基本的価値であり、逆に言えば繋がりの中に浮上するものが基本的価値であろう。学童保育実践のキーワードに込められた課題意識と方法概念を改めて確認しつつ、それらを支える基本的価値を問い合いたい。

二宮衆一氏(和歌山大学)には生活づくり論の視点から、重木奈穂美氏(指導員)には子どもの自治的集団づくり論の視点から、楠凡之氏(北九州市立大学)にはヨーロッパを中心に展開しているソーシャル・ペタゴジーの視点から、今回の課題に接近して頂く。住野好久氏(中国学園大学)には指定討論者として、Educareの観点から論点を開示して頂く。各論者が描き出す基本的価値の重なりと差異を踏まえて、学童保育研究として追究すべき課題に迫りたい。

【登壇者】

二宮 衆一(和歌山大学):生活づくりの視点から

重木 奈穂美(石川県指導員):自治的集団作り論の視点からー話しあいの文化をつなぐー

楠 凡之(北九州市立大学):ソーシャル・ペタゴジーの視点から

【指定討論】住野 好久(中国学園大学)

【司会】宮崎 隆志(北海道文教大学)

福田 敦志(広島大学)

16:10~17:10 自主企画①

I 学童保育の国際比較 ―日本・ノルウェー・デンマークにおける「おやつ」の実態を中心に―：第2講義棟2階 207 教室

企画提案者：松本 歩子（京都教育大学）・住野 好久（中国学園大学）

報告者：Louise Krobak Jensen (Via College, Denmark)

Gunn Helen Ofstad (University of Stavanger, Norway)

指定討論者：住野 好久（中国学園大学）

本企画は、学童保育の目的・内容・方法等を検討する国際的共同研究プロジェクトの一環として、日本・ノルウェー・デンマークの学童保育における「おやつ」の時間（Snack/Mealtime）に着目し、その実践比較を通して各国の特徴を浮かび上がらせることを目的とする。

日本の「おやつ」は、栄養補給や遊び・活動の活力を支える働きにとどまらず、子どもたちの自主性、社会性、生活スキル等を育む場面としても期待される。こうした実践には、安心できる生活を支えながら、仲間との関わりや主体的な活動を育む学童保育の特徴が表れている。つまり、「おやつ」という具体的な実践場面を比較することで、各国の学童保育の目的・内容・方法等の特徴を具体的に捉えることができる。

本企画では、北欧における実践の現状を報告し、日本の実践と比較する。その比較を通して、各国の特徴を明らかにするとともに、国境を越えた学童保育実践に共通する本質的側面があるのかを検討する場とする。
※日英通訳あり。

II 学童保育における遊び研究の可能性：第2講義棟2階 208 教室

企画提案者：大谷 直史（鳥取大学子ども・若者コモンズ）・武田 信吾（関西学院大学教育学部）

「遊びー遊び心」、「様式化ー脱様式化」、「企てー遊び」、「既製品としての遊びー生成としての遊び」等々、遊びという言葉の二重性は様々に表現されてきた。また学童保育における遊びに関わる議論、また生活づくりにおいてもこの二重の意味を含みこんで展開している。異年齢集団による「中間的な世界（＝群れ）」の中で、（指導員による働きかけを含みつつ）協同で遊び・生活を作り出していく学童保育実践、その固有の意義を明らかにするためには、この二重性を整理して実践を捉えることが必要と思われる。報告者らは、アート、ボードゲームの領域からこの問いに接近し、遊びを誘発するゲーム・メカニクスについて検討している。遊び・遊び心、余白、ルールを破ることなど豊富に内在している学童保育の遊びの可能性とその研究について語りあいたい。

III こどもの声をまんなかにした学童現場の実践 ～協同労働による子育てと地域連携～：第2講義棟2階 209 教室

企画提案者：長嶋 恒大（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 上田事業所）

報告者：西沢 美香（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北陸信越事業本部）

林 織江（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北陸信越事業本部）

村上 敦子（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 石川事業所）

本企画では、協同労働の視点を基盤に、学童現場における「こどもかいぎ」や、こどもの意見を反映した活動づくりの実践について報告する。こどもたち自身が意見を出し合い、企画や場づくりに参画する過程を通して、主体性や他者との協働性がどのように育まれているのかを検討する。また、地域住民や関係機関との連携を通じて、多世代が関わる居場所形成や地域とのつながりがどのように広がっているのかについても共有する。実践事例をもとに、学童がこどもたちにとってどのような居場所なのか。こどもと地域をつなぐ学童現場の役割について参加者とともに考えたい。

17:20-18:05 総会（第2講義棟4階 402 教室）

18:15-20:15 懇親会（ナカフクリ食堂） ※10頁地図参照

6月21日(日) [第2日目]

9:00～受付 (1階ロビー)

9:20～12:00 自由研究発表(自由研究発表6のみオンライン参加可能)

自由研究発表1 学童保育の国際的視点と新たなニーズ 司会:福田 敦志(広島大学) 201教室

9:20 開会

9:25～9:55

スウェーデン学童保育法案(1986年)の論点—学童保育所経費と国庫補助金を中心として—

○武田 宏(元大阪府立大学)

9:55～10:25

5章「自治体は 活動の運営と発展のために責任を持つ」を読む

—1988年『学童保育のための教育プログラム』—

○小暮 健一(前明星大学教育学部・NPO 法人所沢市学童クラブの会)

10:25～10:55

イギリスの放課後子ども支援施策の展開と実態:ニューカッスルでの放課後子ども支援の調査から

○二宮 衆一(和歌山大学)

○福 武利(和歌山県放課後児童クラブ巡回アドバイザー)

松本 歩子(京都教育大学)

松田 洋介(大東文化大学)

大谷 直史(鳥取大学)

代田 盛一郎(大阪健康福祉短期大学)

10:55～11:25

朝の居場所づくり支援事業における学童保育の可能性

—朝食提供型子ども食堂の実践と国際比較から—

○松本 歩子(京都教育大学)

11:25～11:55

登校前の早朝預かりの想定ニーズと実施以降見えてきた潜在的なニーズ

○高橋 大甫(学校法人リズム学園 ONE STEP はやきた)

11:55～12:00 総括

自由研究発表2 学童保育の制度・歴史・運動 司会:増山 均(早稲田大学名誉教授) 202教室

9:20 開会

9:25～9:55

こども性暴力防止法が学童保育に与える影響

○鈴木 愛子(鈴木法律事務所)

9:55～10:25

学童保育の児童福祉法法制化時における社会福祉的子ども観の考察

○義基 祐正

10:25～10:55

戦後の京都市における学童保育運動について1970年代の指導員たちの運動に着目して

○藤井 美保(佛教大学大学院)

10:55～11:25

学童保育史研究の史料と方法

○石原 剛志(静岡大学大学院教育学領域)

11:25～11:55

全国学童保育研究集会在自治体施策に与えた影響に関する検討

○河北 大樹 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター)

11:55～12:00 総括

自由研究発表3 学童保育実践と環境 司会:小伊藤 亜希子(大阪公立大学)

207教室

9:20 開会

9:25～9:55

対応困難な児童に対する多層的連携支援の有効性 ―多角的な視点を取り入れる実践報告―

○平井 真紀 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター)

9:55～10:25

学校統廃合が学童保育に与える影響と施設空間の課題 ―大阪府内の事例を通して―

○戚麗明 (大阪公立大学)

小伊藤 亜希子 (大阪公立大学)

松本 歩子 (京都教育大学)

塚田 由佳里 (同志社女子大学)

柴田 聡子 (大阪保育研究所・大阪学童保育連絡協議会事務局)

福 武利 (大阪学童保育連絡協議会)

10:25～10:55

被災地へ「あそび」を届ける支援パッケージの提案

～日常の保育を活かした「あそびの収納バック」の取り組みから～

○角 洋輔 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター・二福のびのびクラブ)

10:55～11:25

大学と地域が連携した運動教室の実践報告

○櫻木 規美子 (立命館大学共通教育推進機構)

黒崎 辰馬 (関西大学人間健康学部)

東 祐希 (神戸学院大学共通教育センター)

11:25～11:55

画期的なシステム ～こども・保護者・企業・支援員の4者がwin-winな関係を～

○小林 飛呂斗 (西江原キッズ)

11:55～12:00 総括

自由研究発表4 学童保育の組織と指導員 司会:中田 周作(中国学園大学)

208教室

9:20 開会

9:25～9:55

法人運営の放課後児童クラブにおける職員異動と引継ぎの実態と課題

○中藤 茉莉 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター)

9:55～10:25

学童保育所若手指導員の職務上における「危機」の内容とその性質、および対処行動プロセスに関する研究

○金子 愛実 (大妻女子大学大学院修士課程修了)

10:25～10:55

「採る・飼う・食べる・再利用する」自然体験活動と食育

○小林 美姫 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター)

10:55～11:25

支援員の「育ち」を可視化する ―自己評価による能力マップ分析と研修設計への示唆―

○佐藤 彩 (神奈川大学)

11 : 25～11 : 55

適正規模の学童保育運営の実践

○黒岩 裕希 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター・ながおキッズ児童クラブ)

11 : 55～12 : 00 総括

自由研究発表5 学童保育における指導・支援 司会:西垣 美穂子(明星大学)

209教室

9 : 20 開会

9 : 25～9 : 55

学童期の子どもの姿から問う、主体性を育む乳幼児の保育の在り方

—乳児期から学童期の保育を経験した保育士の語りと、10の姿から考察する—

○東口 佳奈 (社会福祉法人つくし会)

9 : 55～10 : 25

学童保育における継続的な調理活動を通した子どもの育ちと関係の広がり

○高橋 比呂映 (仙台青葉学院短期大学)

平本 福子 (宮城学院女子大学)

10 : 25～10 : 55

子どもにとってより良いことを実践してきたことで、到達したインクルーシブ

○若井 暁 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター)

10 : 55～11 : 25

「にやり・ほっと」を活用した放課後児童クラブの効果的な支援のあり方に関する研究

○初谷 千鶴子 (千葉女子専門学校)

11 : 25～11 : 55

継続率 100%のための実践

○片岡 謙太 (NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター)

11 : 55～12 : 00 総括

自由研究発表6 学童保育の現代的課題 司会:横山 剛士(金沢大学) 309 教室(オンライン参加)

9 : 20 開会

9 : 25～9 : 55

担任・支援員による保育施設・放課後児童クラブ・小学校間連携の実態認識と課題

○日下部 笑 (名古屋こども専門学校)

9 : 55～10 : 25

学童保育のリーダーシップ研究の再検討 —セキュアベース・リーダーシップを手がかりとして—

○吉澤 英里 (青森公立大学)

10 : 25～10 : 55

放課後児童クラブの補助員等がもつ基礎的な知識について

—放課後児童支援員認定資格研修受講者への調査から—

○菅原 航平 (福岡県立大学)

10 : 55～11 : 25 総括

12:20~13:20 若手会員のためのラウンドテーブル

(第2講義棟2階 207教室・オンライン参加)

「社会人を経て研究にかかわるということ」

佐藤 彩 会員(元横浜市内中学校教員/神奈川大学非常勤講師)

今回は、社会人としての経験を経て大学院へ進学し、保護者の立場から学童保育の研究をスタートされた歩みについてお話しいたします。研究を始めたきっかけや大学院での学び、現在取り組んでいる研究、そして非常勤講師として大学教育に携わる中で感じていることなどを率直に共有していただく予定です。

保護者という当事者としての経験が、どのように研究へとつながっていったのか。研究を続けるなかで感じている迷いや手応え、これからの展望についても語っていただきます。

「これからの学童保育研究」をどのように担っていくのか。若手会員同士で率直に意見を交わし、経験や悩みを共有できる場を目指します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

12:20~13:20 自主企画②

IV 幼児教育学の立場から学童保育所における最低基準について考える：第2講義棟2階 208教室

企画者：小暮 健一（前明星大学教育学部/所沢学童クラブの会）

提案者：志濃原 亜美（秋草学園短期大学 幼児教育学科教授）

指定討論者：田村 一志（全日本建設交運一般労働組合全国学童保育部会事務局）

本企画は、幼児教育学の立場から学童保育所における最低基準について考える。2022年建交労は『わたしたちが求める学童保育の最低基準』をまとめた。最低基準がある保育所は「市町村の保育実施義務」（法第24条）に定められているが、学童保育は「事業」（法第6条）で、市町村には「利用の促進の努力義務」（法21条）にとどまっている。果たしてこのままでいいのだろうか。

幼児教育学の立場から、学童保育の現場も経験しスウェーデンの学童保育の歴史を研究された志濃原亜美さんにお話ししていただきます。

法的に考えれば、施設とは安定的で継続的な生活の基盤として設置された拠点であり、事業とは特定のニーズに対応するサービスの実施であり、柔軟で迅速な支援が可能なものを指します。では、学童保育はどちらに該当するのでしょうか。皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

V 学童保育の“質”をどう可視化し、改善につなげるか — SACERS を用いた実践・対話・改善の可能性 —：第2講義棟2階 209教室

企画提案者：栗林 真由美（特定非営利活動法人 放課後NPO アフタースクール）

近年、学童保育や放課後の居場所において「量」の拡充が進む一方で、子どもが安心して過ごし、自分らしくいられる環境としての「質」をどのように捉え、向上していくかが課題となっている。本企画では、保育環境評価スケール④（SACERS）を用いた放課後の居場所の調査研究をもとに、学童保育の「質」を可視化する意義と、その評価を現場の対話や改善にどうつなげるかを検討する。調査結果から見えてきた「ひとりになれる空間」「子どもが主体的に過ごせる環境」「子どもの権利」といった論点を共有するとともに、実際に評価に取り組んだ現場実践者へのインタビューを通して、評価への戸惑いや改善プロセスのリアルを議論する。質の可視化を「査定」ではなく、子どもにとってよりよい放課後を考え、ふりかえるための対話の契機として捉え直すことを目指す。

災害リスクから子どもを守り育む学童保育実践の探求

【趣旨】

近年、様々な災害リスクが想定されるなかで、学童保育には安全計画、業務継続計画の策定が求められている。学童保育において防災意識を高め、準備を進めることは重要なことではあるが、「災害リスクから子どもを守る」ということは、直後の対応だけでなく、中・長期的な見通しをもってなされなければならない（鈴木・若井・糸山 2024）。研修等でもこのような視点の重要性が認識されつつあるものの、中・長期的な視点をもって、災害リスクから子どもを守り育てる学童保育の可能性に関する議論は始まったばかりである。

一方、2011年の東日本大震災を契機に、災害時のこどもの居場所に関する実践が増え、2024年1月の能登半島地震、2024年9月の豪雨を経験した石川県でも多数の居場所づくりがなされてきた。災害時の居場所の利用を通して、子どもたちが日常性を回復することは、東洋大学社会福祉開発研究センター（2025）が実施した調査においても、信頼できる大人との関係に長期的な影響があることが示されている。

そこで、課題研究Ⅱでは、以下の流れで実施したい。まず、上記調査に中核としてかかわられていた清水冬樹氏（東北福祉大学）から、災害時における子ども・若者当事者調査を踏まえた子ども・若者支援のあり方についてご報告いただく。つぎに、能登半島地震と豪雨の両方を経験し、そのなかで今日まで学童保育実践を担ってきた輪島市社会福祉協議会の松本恭子氏、蓮池淳子氏から、その経験と現在の課題などについてお話しいただく。その際、現場の指導員にもご同席いただく予定である。最後に、これまで多様な被災地でこどもの支援にかかわってきた経験を有する山田心健氏（公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 緊急支援・防災事業プログラムマネージャー）に、過去の被災地子ども支援を踏まえた今後必要とされる子ども支援についてお話しいただく。

以上を踏まえて、災害リスクから子どもを守り育てるために、日常的な生活の場である学童保育が果たしうる役割や機能について考えたい。

【報告者】

清水 冬樹（東北福祉大学）：災害時における子ども・若者当事者調査

松本 恭子・蓮池 淳子（社会福祉法人輪島市社会福祉協議会）：被災地の経験と現在の課題

山田 心健（公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 緊急支援・防災事業プログラムマネージャー）：被災地子ども支援の国際的な動向

【コーディネーター】

植木 信一（新潟県立大学）

■ 大会参加費

□大会参加費（2日間） 会員3,000円 非会員4,000円 学生はそれぞれの半額。

（1日のみ） 会員2,000円 非会員3,000円 学生はそれぞれの半額。

※金沢大学の学生・院生は無償

□現地にて参加される方は、当日、参加費をお支払ください。おつりのないようご準備ください。

□オンラインでの参加を希望する方は、参加申込みを行った上で、下記の学童保育学会の口座に、6月17日（水）までに参加費をお支払いください。

【ゆうちょ銀行 総合口座 加入者名：日本学童保育学会】

・ゆうちょ銀行口座間の場合→ 記号：14130 番号：89883251

・他金融機関からの場合 → 店名：418 普通 口座番号：8988325

■ 大会参加申し込み（締め切り6月17日）

第16回研究大会参加申込

□大会に参加される方は、6月17日（水）までに必ず事前に参加申し込みをして下さい。

□また、懇親会の参加をご希望される場合は、6月3日（水）までに、2日目のお弁当をお希望の方は6月13日（土）までにお申し込みください。

□なお、懇親会のキャンセルについては、6月17日（水）までに、研究大会実行委員長 (shun.szuk@staff.kanazawa-u.ac.jp) までご連絡ください。

期日を過ぎたキャンセルについては、参加費（5000円）をお支払いいただくことになります。後日、上記の学童保育学会の口座までお振込みください。

お弁当のキャンセルについては、6月13日（土）までに、同様に研究大会実行委員長までご連絡ください。

こちらにつきましても、期日を過ぎたキャンセルについては、お弁当代の料金（1000円）を後日、上記の学童保育学会の口座までお振込みください。また申し込みをされた会員等で、当日、受け取りに来られなかった会員も、同様ですのでご承知おきください。

□参加申し込みは右のQRコードで「参加申込フォーム」にアクセスして、必要事項をご記入下さい。

<https://forms.gle/qsUDVBfPJC5Tj5sLA> (学会HPからでもできます。)

□オンラインでの参加も可能です。ただし、オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表6、若手会員のラウンドテーブルのみの参加となります。オンライン参加希望の方は、「参加申込フォーム」にて申込み後、必ず参加費を事前にお支払いください。参加費の支払いを確認できた方のみ、事前にZOOM情報をお送りいたします。6月17日（水）までに必ず参加申し込みと参加費の支払いをお願いします。



■ 「懇親会」について（申し込み締め切り6月3日）

- 大会1日目6月20日（土）18時半から懇親会を行います。事前申し込みが必要です。
- 会場は同敷地内ナカフクリ食堂です。
- 参加費は、5000円です。当日会場にてお支払いいただきますようお願い申し上げます。
- 懇親会への参加希望者は、6月3日（水）までに、前ページの「大会参加申込フォーム」よりお申し込み下さい。
- 昨年に引き続き、交流企画を予定しております。ぜひみなさまふるってご参加ください。
- 懇親会のキャンセルについては、6月17日（水）までに、研究大会実行委員長までご連絡ください。
- 懇親会終了後のバスは、最終バスとなります。最寄りの金沢大学中央バス停を20時41分発となりますので、終了後はお早めの移動にご協力ください。



懇親会会場:ナカフクリ食堂

■会場までのアクセス

〒920-8111 石川県金沢市角間町 金沢大学角間キャンパス

金沢市内



多方面から金沢までのアクセス

【東京方面から】

飛行機利用 羽田→小松 1時間
※小松空港～金沢駅路線バスあり。

JR利用 東京→金沢
北陸新幹線 2時間28分

高速バス利用 新宿駅→金沢 7時間30分～

高速バス利用 東京駅→金沢 8時間15分～

【大阪/京都方面から】

JR利用 大阪→京都→金沢 2時間9分
大阪→京都→敦賀 特急サンダーバード
敦賀→金沢 北陸新幹線

高速バス利用 京都→金沢 4時間

高速バス利用 大阪→金沢 4時間50分

【名古屋方面から】

JR利用 名古屋→金沢 2時間44分
名古屋→敦賀 特急しらさぎ
敦賀→金沢 北陸新幹線

高速バス利用 名古屋→金沢 4時間

金沢駅から金沢大学までのアクセス

北陸鉄道バス

→ 角間キャンパス

<バス停：金沢大学自然研前,金沢大学中央又は金沢大学>まで
金沢駅兼六園口(東口)8番乗り場発

93 94 97 金沢大学行き(兼六園下経由)

→ 宝町・鶴間キャンパス(医学類・医薬科学類・保健学類)

<バス停：小立野>まで

金沢駅兼六園口(東口)6番乗り場発

11 東部車庫・金沢学院大学・石川県立図書館・金沢大学附属病院行き

12 北陸大学・湯涌温泉行き(小立野経由)

16 上辰巳・駒畑行き

金沢駅兼六園口(東口)8番乗り場発

13 湯谷原・医王山行き **14** 太陽が丘ニュータウン行き(金商経由)

金沢駅港口(西口)5番乗り場発

10 東部車庫・金沢学院大学行き

・北鉄バス「金沢大学バス停」から、直進徒歩3分で人社第2講義棟に到着



■ 駐車場について

自家用車等でお越しの方は、北地区の「金沢大学バス停」近くの**P 駐車場**を使用してください。大会会場となる人社第2講義棟へは3号館を通り抜けてお越しください。

■ 昼食について

21日(日)の昼食として、事前注文制のお弁当(1,000円)をご用意しています。業者の繁忙期のため、できるだけお早めに申し込みください。当日は大学内の食堂・コンビニが営業していませんので、昼食が必要な方は6月13日(土)までにお申し込みください。またお弁当をキャンセルされる場合も、6月13日(土)までに、研究大会実行委員長までご連絡ください。

なお、アレルギー等があり不安な方につきましては、ご自身でご準備ください。

■ 休憩室について

大会期間中、休憩を取るためのスペースとして309教室を利用できます。ただし、21日(日)9:00~12:00は、自由研究発表6(オンライン)と併用になります。

また、21日(日)10:00~14:00の時間帯に、金沢の知る人ぞ知る〔潤喫茶 素子〕より、ほっと一息できるようなコーヒー、和紅茶などを販売いただきます(50名限定)。

身体に優しい炊き込みご飯などの軽食も販売いただく予定です。どうぞご利用ください。

■バスの時刻について

土日祝日はバスの数が少ないためお気を付けてください。

改正日：2026年03月15日
(93/94) 金沢大学線

コメント	曜日： 土日祝																	方向： 1																
	金沢駅③	リフアーレ	武蔵ヶ辻②	南町	香林坊④	香林坊①	広坂①	兼六園下④	小将町	横山町	暁町	桜町	鈴見台一	鈴見台二	若谷	若松A	田井町	旭町	旭町	若松橋	若松西	若松C	角間新町	角間口	金大自然研	金大中央	金沢大学							
	727	729	731	733	735	736	737	742	743	744	745	746					748	749	750	752	753	755	756	757	758	800	807							
	752	754	756	758	800	801	802	807	808	809	810	811	813	814	815	817																		
	832	834	836	838	840	841	842	847	848	849	850	851					853	854	855	857	858	900	901	902	903	905	912							
	912	914	918	920	922	923	924	929	930	931	932	933	935	936	937	939																		
	942	944	948	950	952	953	954	959	1000	1001	1002	1003					1005	1006	1007	1009	1010	1012	1013	1014	1015	1017	1026							
	1032	1034	1038	1040	1042	1043	1044	1049	1050	1051	1052	1053	1055	1056	1057	1059																		
	1052	1054	1058	1100	1102	1103	1104	1109	1110	1111	1112	1113	1115	1116	1117	1119																		
	1142	1144	1148	1150	1152	1153	1154	1159	1200	1201	1202	1203	1205	1206	1207	1209																		
	1252	1254	1258	1300	1302	1303	1304	1309	1310	1311	1312	1313	1315	1316	1317	1319																		
	1342	1344	1348	1350	1352	1353	1354	1359	1400	1401	1402	1403	1405	1406	1407	1409																		
	1432	1434	1438	1440	1442	1443	1444	1449	1450	1451	1452	1453	1455	1456	1457	1459																		
	1522	1524	1528	1530	1532	1533	1534	1539	1540	1541	1542	1543	1545	1546	1547	1549																		
	1612	1614	1618	1620	1622	1623	1624	1629	1630	1631	1632	1633					1635	1636	1637	1639	1640	1642	1643	1644	1645	1647	1656							
	1652	1654	1658	1700	1702	1703	1704	1709	1710	1711	1712	1713	1715	1716	1717	1719																		
	1747	1749	1753	1755	1757	1758	1759	1804	1805	1806	1807	1808	1810	1811	1812	1814																		
	1852	1854	1858	1900	1902	1903	1904	1909	1910	1911	1912	1913	1915	1916	1917	1919																		
	1947	1949	1951	1952	1954	1955	1956	2001	2002	2003	2004	2005					2007	2008	2009	2010	2011	2013	2014	2015	2016	2018	2027							
	2102	2104	2106	2107	2109	2110	2111	2115	2116	2117	2118	2119					2121	2122	2123	2124	2125	2130												
	2127	2129	2131	2132	2134	2135	2136	2140	2141	2142	2143	2144					2146	2147	2148	2149	2150	2156												

若松A = 田上方向 若松C = 若松西から

改正日：2026年03月15日
(93/94) 金沢大学線

コメント	曜日： 土日祝																	方向： 2																
	金沢大学	金大中央	金大自然研	角間口	角間新町	若松D	若松西	若松橋	旭町	旭町	田井町	若松B	若谷	鈴見台二	鈴見台一	桜町	暁町	横山町	小将町	兼六園下①	広坂②	香林坊⑦	南町	武蔵ヶ辻⑤	リフアーレ	金沢駅								
	840	841		842	843							845	846	847	849	850	851	852	853	855	857	859	901	903	905	917								
	1005	1006		1007	1008	1010	1011	1012	1013	1014	1015					1017	1018	1019	1020	1022	1024	1026	1028	1030	1032	1049								
	1040	1041	1044	1046	1047							1049	1050	1051	1053	1054	1055	1056	1057	1059	1101	1103	1105	1107	1109	1124								
	1125	1126	1129	1131	1132							1134	1135	1136	1138	1139	1140	1141	1142	1144	1146	1148	1150	1152	1154	1209								
	1155	1156	1159	1201	1202	1204	1205	1206	1207	1208	1209					1211	1212	1213	1214	1216	1218	1220	1222	1224	1226	1239								
	1239	1240	1243	1245	1246							1248	1249	1250	1252	1253	1254	1255	1256	1258	1300	1302	1304	1306	1308	1323								
	1350	1351	1354	1356	1357							1359	1400	1401	1403	1404	1405	1406	1407	1409	1411	1413	1415	1417	1419	1434								
	1440	1441	1444	1446	1447							1449	1450	1451	1453	1454	1455	1456	1457	1459	1501	1503	1505	1507	1509	1524								
	1525	1526	1529	1531	1532							1534	1535	1536	1538	1539	1540	1541	1542	1544	1546	1548	1550	1552	1554	1609								
	1612	1613	1616	1618	1619							1621	1622	1623	1625	1626	1627	1628	1629	1631	1633	1635	1637	1639	1641	1656								
	1710	1711	1714	1716	1717	1719	1720	1721	1722	1723	1724					1726	1727	1728	1729	1731	1733	1735	1737	1739	1741	1754								
	1730	1731	1734	1736	1737	1739	1740	1741	1742	1743	1744					1746	1747	1748	1749	1751	1753	1755	1757	1759	1801	1814								
	1745	1746	1749	1751	1752							1754	1755	1756	1758	1759	1800	1801	1802	1804	1806	1808	1810	1812	1814	1829								
	1843	1844	1846	1847	1848							1850	1851	1852	1854	1855	1856	1857	1858	1900	1902	1904	1905	1907	1909	1923								
	1853	1854	1856	1857	1858	1900	1901	1902	1903	1904	1905					1907	1908	1909	1910	1912	1914	1916	1917	1919	1921	1933								
	1940	1941	1943	1944	1945							1947	1948	1949	1951	1952	1953	1954	1955	1957	1959	2001	2002	2004	2006	2020								
	2040	2041	2043	2044	2045							2047	2048	2049	2051	2052	2053	2054	2055	2057	2059	2101	2102	2104	2106	2120								

若松B = 田上から 若松D = やまや前

■会場図

【1F】



【2F】



【3F】



【4F】



<問い合わせ先>

□第16回大会の参加・発表等に関すること

第16回日本学童保育学会研究大会実行委員会 委員長 鈴木 瞬

E-mail : shun.szk@staff.kanazawa-u.ac.jp

□学会・入会・会員資格等に関すること

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学教育学部 松本歩子研究室気付

日本学童保育学会事務局 事務局長 松本歩子 E-mail : jimukyoku@gakudouhoikugakkai.com

<学会HP>

<http://www.gakudouhoikugakkai.com/>